新型コロナウイルス感染症拡大等の状況を考慮しながら、散策をお楽しみください

枝垂れ桜の名所

六地蔵寺


【写真提供：六地蔵寺】

年間を通じてさまざまな花で彩られる六地蔵寺。境内の中央にある枝垂れ桜は樹勢優美で、毎春、訪れる人を楽しませる。



山号を倶胝密山、院号を聖宝院と称する真言宗の本山で「水戸大師」と呼び親しまれている。創建は平安時代初期の大同2年（807年）。


●備前堀
【写真提供：水戸市】

桜川から涸沼川に至る用水堀。水戸藩初代藩主・徳川頼房公の命を受けた伊奈備前守忠次によって築かれた。

境内は本堂や地蔵堂、大師堂、弁財天社、旧法寶蔵（写真）、法寶蔵、胎内くぐりなど、見どころがあふれる。


●常陸第三宮 吉田神社

祭神は日本武尊（やまとたけるのみこと）で、東征の際、この地に立ち寄り、その後、社殿が造営されたと言われる。


●銷魂橋高札所跡

「たまげばし」と読む。「江戸街道起点」の石碑があり、江戸時代には藩の禁令や法度など、高札が立てられていた。



吉田神社御朱印


ハミングロード

●散策コース●

東水戸駅から南に向かい、国道51号を超えると六地蔵寺がある。文化財は関東でも屈指の3,000点を数える。境内は立体的な曼荼羅を形成し、弘法大師の教えを現代に伝えている。徳川光圀公の命により建立された六地蔵寺旧法寶蔵、堂内に本尊六地蔵菩薩立像が安置された地蔵堂はもちろん、枝垂れ桜、イチョウ、大スギなど、花や樹木にも注目したい。

六地蔵寺を堪能したら、備前堀に沿って水戸市街地を目指そう。地域の用水路として駅から臨める美田を築いた備前堀。県道179号線を超えると用水路は“堀”らしい姿に変わる。一つ一つの橋に特徴があるので、じっくりと眺めてみよう。道明橋には備前堀を築いた伊奈備前守忠次の像があり、その次には水戸街道の起点となった銷魂橋がある。備前堀の北側は堀が作られた際に整備された地域で、下市地区と呼ばれる。彫刻が並ぶ「ハミングロード513（本町商店街）」など、趣ある商店街もある。

銷魂橋から南に向かうと常陸国三宮の吉田神社がある。厄除け、方位除け、縁結びをはじめ、多くのご利益がある格式高い神社。神楽殿前の枝垂れ桜、ご神木の大けやき、徳川光圀公お手植えと伝えられる「縁結びの笹」など、見どころは多い。

●お問い合わせ／水戸市産業経済部観光課 ☎029（224）1111（代表） ●企画・制作／読売茨城広告社☎029（244）5555

Vol.120

駅からのふるさと紀行

鹿島臨海鉄道 大洗鹿島線

東水戸駅

ひがしみと

水戸 ― 常澄（みと ― つねずみ）

●次回は4月24日の掲載予定です。

※イラストはイメージです。



働く人と、世界を走る。
ISUZU
茨城いすゞ自動車株式会社
本社／〒310-0063 水戸市五軒町1-2-5 ☎029-225-1215㈹
https://www.ibaraki-isuzu.co.jp

広告



●水戸駅から約3.8kmの距離にある無人駅。


●高架下にはトイレや駐輪場がある


●ホームは1面2線

水戸駅の隣にある高架駅は枝垂れ桜の名所・六地蔵寺の最寄り駅

鹿島臨海鉄道大洗鹿島線は水戸駅を出発し、桜川の鉄橋を越えると進路を南南東に向ける。ここからは那珂川と国道51号に挟まれ、並走しながら大洗方面に向かう。

東水戸駅は桜川の鉄橋からしばらく進んだ水戸市吉沼町にある。高架駅から見渡すと広がるのは田園風景。那珂川沿いには上大野地区、国道51号を超えると百合ヶ丘など住宅街もある。

駅が開業したのは鹿島臨海鉄道大洗鹿島線の開通と同じ昭和60年3月。水戸市では初の高架駅だった（平成4年に常澄村が水戸市に編入されたため、現在、水戸市内の高架駅は常澄駅と東水戸駅の2つ）。

名刹・六地蔵寺の最寄り駅。名前の通り六体の地蔵のほか多くの文化財があり、安産・子育ての霊場として古くから信仰されている。春には樹齢200年を超える美しいシダレザクラが人々の目を楽しませる。